

設立趣旨書

現代の日本では、就労を継続できず行き場を失う人々が増加しています。住む場所を失った方々は、生活保護を受けることができず、職に就くことも困難になるという負の連鎖に陥りがちです。このままでは社会全体の活力が失われ、持続可能な未来を描くことが難しくなります。

私たちは、この「暮らしれない」現実を「暮らせる」に変え、すべての人が安定した生活を送り、自立した未来を築ける社会を目指します。そのために、次のような理想を掲げます。

- 働く意欲のある人々が適切な職に出会い、安定した住居を確保できる社会
- 企業と労働者が相互に理解し合い、ミスマッチを解消した労働環境
- 必要なスキルを習得し、地方でも活躍できる「人財」が育つ未来

これらを実現するため、住居を失った方々に安定した住環境を提供し生活の基盤を整え、個々の特性に応じたキャリア相談や職業体験の機会を創出。働く自信とチャンスを広げて自立の後押しを致します。

これまで私たちは、生活保護を希望する方や就労に悩む方々からの相談に応じ、住居の確保や地域活性化に寄与する取り組みを行ってきました。これらの経験を生かし、NPO法人としてより多くの人々に支援を届け、企業や行政との連携を強化しながら「住居・就労・教育」の3本柱で地域と社会の課題解決に貢献していきます。

NPO法人として活動することで、公益性を担保しながら持続可能な支援を実現します。個人や任意団体では対応が難しい領域を補い、行政や企業とも対等に協力できる枠組みを活用することで、社会課題の解決を加速させます。

以上の趣旨をもって、特定非営利活動法人を設立し、社会全体の利益増進に向けて活動していくことを誓います。

2024年 12月 19日

法人の名称 NPO法人 暮らし就労支援協会

設立代表者 小林 忠史